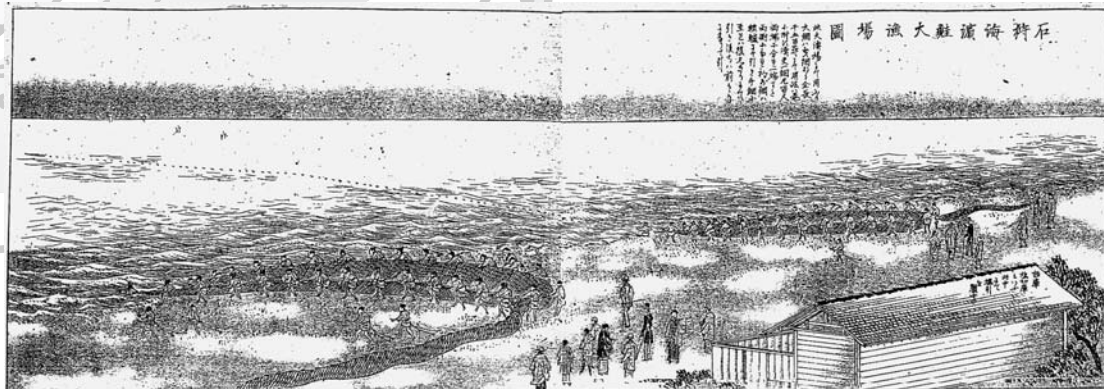


石狩観光のはじまり



鮭魚の様子(『風俗画報』より)

最近、盛んに取り上げられている「石狩鍋」ですが、「石狩鍋」が広まった背景には、石狩の観光ブームがあったことは、意外に知られていません。昭和20年代後半に、石狩川河口で行われていた鮭地引網漁の見学ツアーが人気を集め、この時観光客に出された「石狩鍋」が評判になったのが、「石狩鍋」が全国に広まるきっかけとなりました。

実は、石狩の鮭漁観光は、明治時代にさかのぼります。明治21年10月の北海道毎日新聞379号には、鮭漁を見物しやすい漁場や札幌からの交通機関、旅館、はては夜の遊び場まで紹介されています。

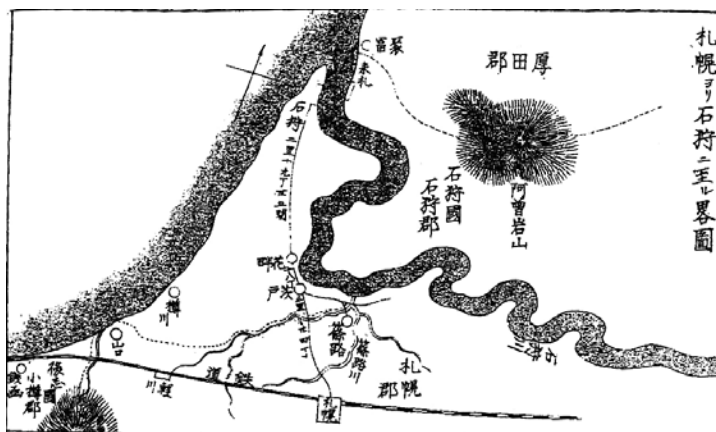
明治27年の『風俗画報』では、石狩の鮭漁の様子がイラスト入りで伝えられています。筆者が、自宅を人力車で出発し、茨戸を経由して石狩に到着するまでが、具体的に距離と時間を挙げてレポートされており、現代の旅行番組そっくりです。

明治32年の『札幌案内』にも鮭の漁期、鮭漁の見所、主な旅館、札幌からの交通が紹介されています。これらはいずれも、札幌からの距離、宿泊の便、交通機関が明記されており、観光客向けを意識して書かれたことが分かります。

では、なぜ石狩の鮭漁が、明治時代から注目されていたのでしょうか。石狩の鮭地引網漁は、江戸時代から行われており、蝦夷地ならではの豪快な漁として本州にも知られていました。明治時代になっても蝦夷地のイメージが強い鮭地引網漁へ関心があったようです。

江戸時代から続く、石狩と鮭のイメージの結びつきこそ、北海道の小さな町だった石狩町で生まれた「石狩鍋」が、瞬く間に全国に広まった理由の一つでした。

(工藤義衛)



石狩への地図(『風俗画報』より)

参考文献

狩野信平『札幌案内』1899年
鈴木トミエ編『新聞に見る石狩・厚田・浜益歴史年表』2007年
関場梅屋『石狩観鮭漁の記』『風俗画報』第70、73号・1894年

■文化財課・いしかり砂丘の風資料館
☎62-3711
✉bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp

石狩が発祥の郷土料理 石狩鍋を食べに行こう

冬を迎え、鍋物のおいしい季節となりました。

数ある鍋の中でも北海道を代表する鍋といえば、やはり石狩鍋。ぶつ切りにしたサケの身やアラ、野菜をみそ仕立ての鍋に入れ、最後に山椒をふりかけて食べる石狩鍋は北海道の郷土料理として全国的にも有名で、北国の冬に欠かせない定番料理となっています。

しかし、発祥地である石狩にはその鍋を食べられる飲食店が数軒しかありませんでした。

そこで市では昨年より「石狩鍋復活プロジェクト」をスタート。市内の飲食店とともに復活運動に取り組んでいます。

「石狩鍋復活プロジェクト」に賛同し、加盟している飲食店は現在14店舗。公募で「あき味の会」と団体名を決め、月に一度、定期的な会合を行っています。「会合では主に勉強会や意見交換を行い、今後どのようにして石狩鍋をPRしていくかを話し合っています」と同会代表の宝寿し店主・中田雅民さん。

同会では石狩鍋を提供していることを示した、ロゴ入りの紫色ののぼりを各店の前に掲げています。「石狩鍋を食べに来られる方が以前よりも増えました。『すぐにできるの?』『何人前からできるの?』という問い合わせも結構あります」と反響も上々。

新年を迎えるため、帰郷されている人も多いこの時期。家族や親戚と一緒にふるさとの味・石狩鍋で新年を迎えてみてはいかがでしょうか。



▲写真は「鮭爽醇鳥 ひだか」さんの石狩鍋。こちらでは5種類のみそをブレンドして提供。プリプリのサケの身と、コクのあるスープが絶妙な味わい深さを醸し出しています。



▲昨年10月30日(火)には、「あき味の会」メンバーが市長を訪問し、市長からのぼりが手渡されました。



▲「あき味の会」加盟店はこののぼりが目印!

▶プロジェクトのテーマ曲「石狩鍋 with You!!」を歌うLet'sは昨年12月14日(金)に「石狩鍋大使」に任命され、同日、市内飲食店で歌を披露しながら石狩鍋をPRして歩きました。

●Let'sプロフィール
平成17年12月にメジャーデビューした、CHISATOさん(写真左・21)とSAORさん(右・21)によるダンスポータルユニット。なお、CHISATOさんは石狩市出身で、樽川中学校の卒業生です。



●「あき味の会」加盟店(平成19年12月現在)

店名	住所	☎(市外局番0133)
つば八藤女子大前花川店	花川南3-5-23	☎73-2087
やまたま	親船町109	☎62-3326
炭焼やきとり石鉄 田むら	花川南1-3-213	☎72-5929
ジュピター	花川南1-3-213	☎76-1331
宝寿し	花川南3-4-233-1	☎73-8080
鮭爽醇鳥 ひだか	花川南9-3-92-61-スウェイッチ1階	☎73-2266
地産地消 とみき	八幡4丁目4	☎66-3581
酒庵 升屋	花川北7-1-10-1大福ビル地下1階	☎75-1188
金大亭	新町1	☎62-3011
鮭鱒料理あいはら	弁天町番外地	☎62-3019
おばんさいの店 と>	花川北1-4-233	☎74-0636
茨戸ガーデン	生振39-2	☎64-1955
来い来い番屋の生鮮広場	親船町20-4	☎62-5080
シーフードレストラン オールドリバー	新港東1-54	☎62-4691

※お店によっては石狩鍋の提供時期を限定していますので、必ず事前にお問い合わせください